

プログラム概要：オンライン型～評価をつける編～ (1日コース)

※「公正・公平な評価をつける」「次につなげる評価面談」を重点的に実施します。

Mission 1

評価の意義と全体像

■ STORY

社内の業務シーンを観察し、各メンバーが評価に対して不満を持っている様子を感じ取る。それらを解決していくため、評価についての基礎知識を学習する。その上で、評価の理想的な在り方をワークを使って考える。

■ 学びのポイント

- 評価制度の持つ意味とは
- 評価制度の全体像

Mission 3

公正・公平な評価をつける

■ STORY

金子さんの目標設定も終わり、本格的な業務がスタートしていく。受講生は研修サービス部員の業務の様子を観察し、実際に評価をつけるワークを行う。評価をつける一連の流れを体感するとともに、その際には、業務の観察量が何よりも大事であり、また起きやすいエラーを防ぐことの重要性を学ぶ。

■ 学びのポイント

- 業務を把握することの大切さ
- 起こりがちな評価エラー

Mission 5

評価者として

■ STORY

研修のまとめとして、評価の持つ意味を宮部さんが語る。とても大きな意味を持つものであるからこそ、真剣に向き合わなければいけないことを知る。

■ 学びのポイント

- 評価者としての心構え

Mission 2

目標設定と期中のマネジメント

納得いく目標設定のポイントを学習する。目標達成するためには目標を立てるだけではなく、期中のマネジメントが重要であることを知る。期中のことを振り返りながら、期中のマネジメントのポイントを学習する。

■ 学びのポイント

- 目標設定の考え方
- 納得のできる目標の伝え方
- 期中のマネジメント

Mission 4

次につなげる評価面談

■ STORY

評価をつけ終わり、期末の面談シーズンに。ある日の会議でモチベーションが下がり気味の朝比奈さんの様子が。話を聞くと評価面談に納得がいていないようだ。どのような面談だったのか、朝比奈さんの話を聞きながら、部下が納得のいく評価面談を行うためのポイントについて学習していく。

■ 学びのポイント

- 被評価者の思考パターン
- 評価面談の進め方